

東北地方 1か月予報

(7月30日から8月29日までの天候見通し)

平成17年7月29日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

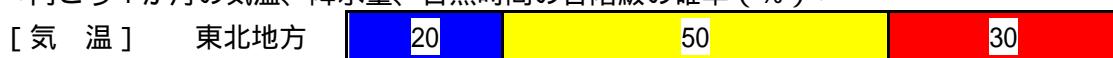
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

太平洋高気圧に覆われて晴れの日もありますが、前線や気圧の谷の影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並か少ないでしょう。

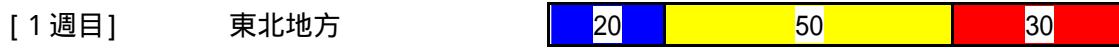
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月30日(土)～8月29日(月)

1週目 : 7月30日(土)～8月5日(金)

2週目 : 8月6日(土)～8月12日(金)

3～4週目 : 8月13日(土)～8月26日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月5日

3か月予報：8月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	23.0	177.5	163.6	23.3	23.3	22.9
新庄	24.0	164.5	180.1	24.5	24.3	23.8
若松	24.8	126.9	201.4	25.4	25.1	24.7
深浦	23.2	156.3	187.1	23.6	23.5	23.0
青森	23.1	126.8	192.1	23.6	23.5	22.8
むつ	21.7	132.2	155.3	22.1	22.1	21.5
八戸	22.4	133.7	176.0	22.9	22.8	22.2
秋田	24.6	174.7	201.6	24.9	24.9	24.5
盛岡	23.3	168.0	160.6	23.8	23.6	23.1
宮古	22.3	165.4	167.5	22.5	22.5	22.2
酒田	25.0	169.1	214.2	25.4	25.3	24.8
山形	24.7	139.7	186.4	25.4	25.1	24.5
仙台	24.1	161.0	157.0	24.5	24.4	24.0
石巻	23.5	116.1	179.5	23.6	23.7	23.4
福島	25.3	135.2	160.9	25.8	25.6	25.1
白河	23.3	210.1	155.9	23.8	23.6	23.2
小名浜	23.9	126.2	195.5	23.6	23.9	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますか、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.6	74~121	89~110
東北日本海側	-0.5~+0.5	78~111	91~112
東北太平洋側	-0.4~+0.6	67~126	87~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+1.2	-0.8~+1.1	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.8~+1.1	-0.9~+1.0	-0.5~+0.9
東北太平洋側	-0.5~+1.3	-0.7~+1.2	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 17 年 7 月 29 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (7 月 30 日 ~ 8 月 29 日) :

太平洋高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や気圧の谷の影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目 (7 月 30 日 ~ 8 月 5 日) :

期間のはじめは前線や気圧の谷の影響で、曇りや雨ですが、その後は高気圧におおわれて晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目 (8 月 6 日 ~ 8 月 12 日) :

太平洋高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や気圧の谷の影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目 (8 月 13 日 ~ 8 月 26 日) :

太平洋高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や気圧の谷の影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

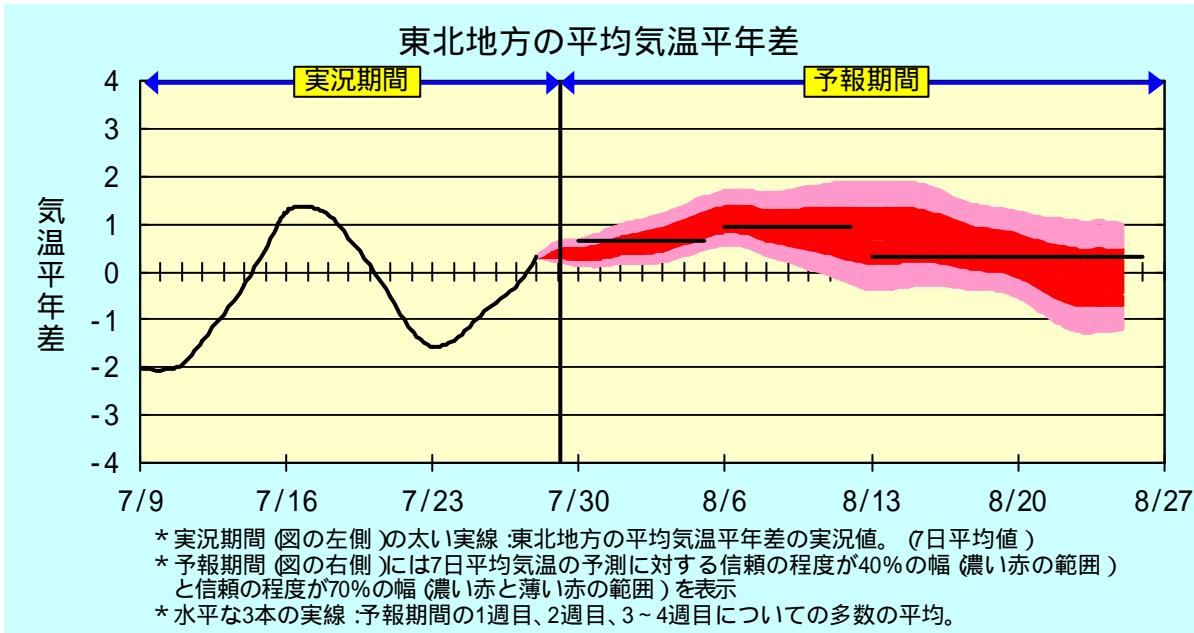
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3~4 週目
東北日本海側	16.4 日	3.9 日	4.5 日	8.0 日
東北太平洋側	14.6 日	3.7 日	4.1 日	6.8 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに「平年並」と予測している。予報は、数値予報通りとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

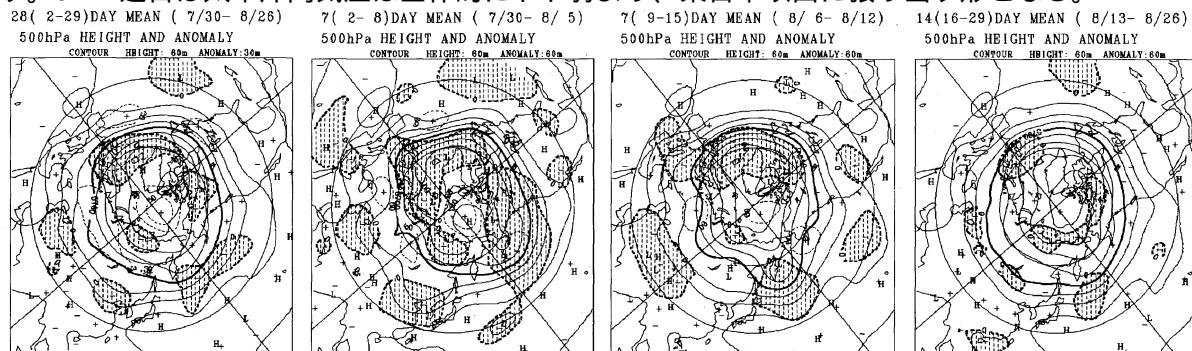


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、カムチャツカ半島付近と中国東北区で負偏差のほかは正偏差。北日本は太平洋高気圧の北のへりにあたり、前線や気圧の谷の影響を受けやすい。

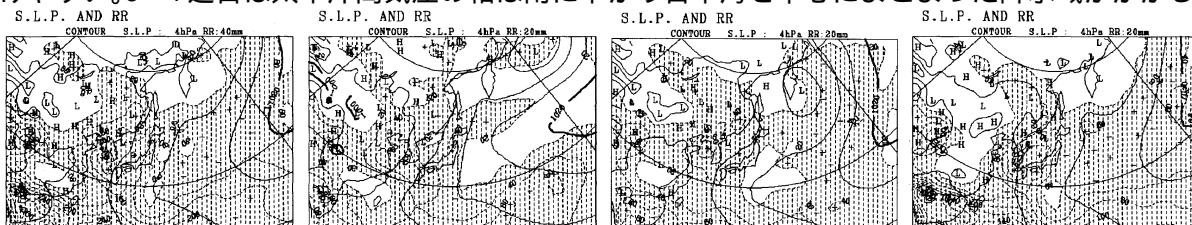
1週目は、大陸東岸が気圧の谷で負偏差となり、一時前線の影響を受ける見込みだが、太平洋高気圧も日本の東で強まる。2週目はカムチャツカ半島付近の気圧の谷が明瞭。バイカル湖付近で偏西風の分流が見られオホーツク海高気圧が発生する見込みだが、太平洋高気圧も北へ張り出す。3~4週目は太平洋高気圧は全体的にやや弱まり、東日本以西に張り出す形となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧は西へ張り出し、北への張り出しが弱い。まとまった降水域が日本付近にもかかる。

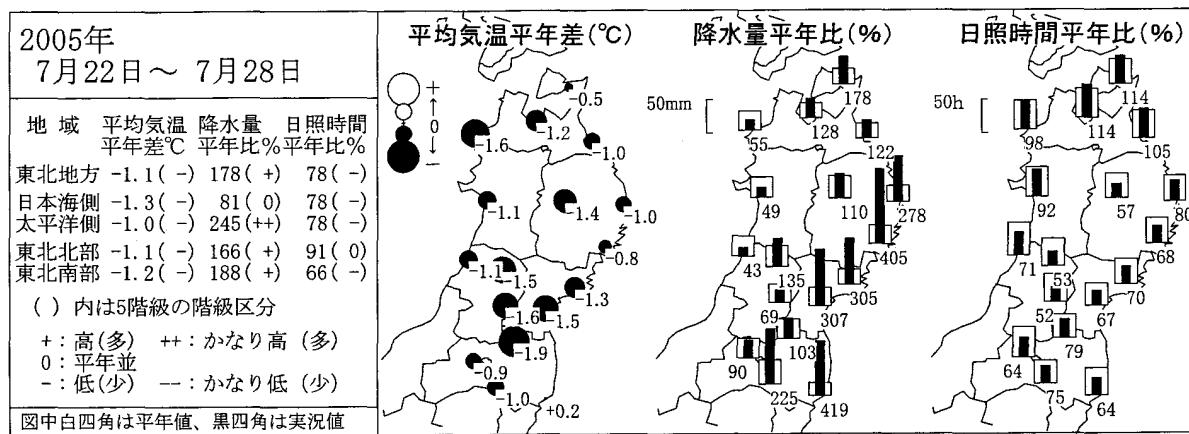
1週目は、太平洋高気圧の軸が北緯30°付近で日本付近には広く降水域がかかる。2週目は、日本付近への太平洋高気圧の張り出しが強まるが、オホーツク海高気圧も出現する見込み。東北地方は、太平洋高気圧に覆われる日もあるが、上空の寒気や縁辺を回る湿った気流やの影響を受けやすい。3~4週目は太平洋高気圧の軸は南に下がり日本海を中心にまとまった降水域がかかる。



4. 最近1週間（7月22日～7月28日）の天候の経過

この期間、25日までは三陸沖に停滞した上空の寒気や湿った東よりの風の影響で東北太平洋側や東北南部では曇りや雨の日が多くなったが、東北日本海側の北部は晴れの日が多くなった。26日は台風第7号が房総半島に上陸し、三陸沖を北上したため東北太平洋側を中心に大雨となった。27~28日は東北太平洋側では晴れたが、東北日本側では湿った西よりの風が吹き付け北部を中心に曇りや雨の所が多くなった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

2005年(平成17年)梅雨入り・梅雨明け(速報)

	梅 雨 入 り			梅 雨 明 け		
地方	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
沖縄	5月 2日頃	5月 8日頃	5月 5日頃	6月 27日頃	6月 23日頃	6月 23日頃
奄美	5月 9日頃	5月10日頃	5月14日頃	6月 27日頃	6月 28日頃	6月 24日頃
九州南部	6月 11日頃	5月 29日頃	5月 29日頃	7月 15日頃	7月 13日頃	7月 11日頃
九州北部	6月 10日頃	6月 5日頃	5月 29日頃	7月 17日頃	7月 18日頃	7月 11日頃
四国	6月 11日頃	6月 4日頃	5月 29日頃	7月 16日頃	7月 17日頃	7月 13日頃
中国	6月 11日頃	6月 6日頃	5月 29日頃	7月 18日頃	7月 20日頃	7月 13日頃
近畿	6月 11日頃	6月 6日頃	6月 6日頃	7月 18日頃	7月 19日頃	7月 13日頃
東海	6月 11日頃	6月 8日頃	6月 6日頃	7月 18日頃	7月 20日頃	7月 13日頃
関東甲信	6月 10日頃	6月 8日頃	6月 6日頃	7月 18日頃	7月 20日頃	7月 13日頃
北陸	6月 27日頃	6月 10日頃	6月 6日頃	7月 23日頃	7月 22日頃	7月 22日頃
東北南部	6月 15日頃	6月 10日頃	6月 7日頃		7月 23日頃	7月 22日頃
東北北部	6月 27日頃	6月 12日頃	6月 19日頃		7月 27日頃	7月 22日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入りまたは明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の時期があります。

平年の時期は1971年～2000年